

中期CSRアクションプラン

日本化薬グループでは、2013年4月より、2016年の創立100周年を目指した新たな3カ年中期事業計画 **Challenge 100A!** (Challenge toward our 100th anniversary)を開始しました。これに伴い、**Challenge 100A!** 期間中に取り組む中期CSRアクションプランを設定しました。本中期CSRアクションプランを全役員・従業員に徹底し、CSR経営への意識を高めるとともに、全員一体となった取り組みを進めてまいります。

分類	No.	Challenge 100A! 中期CSRアクションプラン	2013年度アクションプランに対する成果	評価	2014年度 アクションプラン
基盤	1	従業員のCSRとコンプライアンスに対する意識を向上させる	コンプライアンス研修:グループ会社含め50回、CSR研修:13回実施 コンプライアンスアンケート実施とフィードバック	○	グループ会社を含めたCSR・コンプライアンス研修
	2	有事発生時においても事業継続性を確保する	海外危機管理マニュアル制定 BCP訓練の実施 インフラの構築を実施	○	自然災害以外のリスクに対応したBCPマニュアルの整備と訓練 ITシステムの被災リスク低減と迅速な復旧環境の確保(2014年度完了)
	3	化学物質に関する規制を遵守する	化学品法令基礎教育資料を整備し教育を実施 GHSの入門資料を整備し教育を実施	○	化学物質規制に関する社内教育プログラムの充実 各国基準に適合したSDS*によるお客様への情報提供
社会的責任	4	がんとがん関連分野における研究・開発・製品情報提供により社会に貢献し続ける	血管塞栓用マイクロスフィア:2製剤上市 抗がん薬内包高分子ミセル:国際共同試験が進行中 取扱が5品目増加したことに伴い、研修を増やしサポート体制を維持強化	◎	血管内治療分野における低侵襲治療の提供、抗がん薬内包高分子ミセルの開発推進 医薬品情報センターのさらなる充実による安全管理、品質向上
	5	従業員の火薬類取り扱いに関するスキル・知識の習熟を徹底する	受講対象者36名に対し5回の講習を実施	○	火薬安全維持推進チームによる階層別教育プログラムの実践
	6	農業安全使用のための現地指導を継続実施する	販売員一人あたり平均471回/年、販売窓口へ訪問	◎	農家へ農業安全・適正使用の説明会実施
	7	サプライヤーと連携したCSR調達を推進する	購買理念・購買基本方針・CSR調達ガイドラインの準備	○	サプライヤーと連携してCSR調達の運用を開始
	8	重大事故災害による環境影響や労働災害を未然に防止する	重大事故災害:0件、休業災害:2件、無傷害事故:1件、不休業災害:3件 医薬MR業務上および通勤途上自動車事故率:11.5%	△	重大事故災害、休業災害、無傷害事故:0件、不休業災害度率:5件以下 医薬MR業務上および通勤途上自動車事故率:4%以下
	9	顧客苦情・品質工程異常を低減する	重大顧客クレーム:2件、重大品質工程異常:1件	×	重大顧客クレーム:0件、重大品質工程異常:0件、なぜなぜ分析の職場展開による再発防止の強化
	10	地域社会とのコミュニケーションを行う	あすなるの家2013年利用者:132家族(稼働率64%) ピンクリボン活動:7事業場で実施、乳がんinfoナビのリニューアル 工場祭:5事業場(来場者約8,000名)、地域懇談会:4事業場、 清掃活動:6事業場、公開講座:4事業場で実施	◎	「あすなるの家」運営を通じ、難病とたたかう子どもとその家族をサポート ピンクリボン活動・工場祭・地域との懇談会・地域清掃活動・公開講座の継続実施
	11	ステークホルダーに対して適時適切な情報発信を行う	日本語版ウェブサイトのリニューアル 中国子会社へのERPシステム導入支援、グローバル経理会議開催 グループ会計方針規程策定	○	グローバルサイト化に向けたウェブサイトの充実 投資家とのコミュニケーションの充実、100周年に向けた社内報の企画充実 決算開示の早期化の推進、IFRS(国際財務報告基準)への対応準備
	12	多様な人材を活用・育成する	障がい者の法定雇用率2.0%達成、女性管理職の割合:4.2%へ増加 定年到達者の再雇用希望者雇用率:ほぼ100% 中国人ナショナルスタッフの育成研修開始、語学海外短期留学制度開始 海外赴任前教育プログラム強化	◎	身体・知的障がい者の継続的採用、女性の育児休職後の復帰・子育て支援による女性管理職の増加 高年齢者の能力活用により技術継承を図る取り組み
	13	従業員の安全と健康に配慮し、ワーク・ライフ・バランスのとれた労働環境を提供する	メンタルヘルス研修:3カ年計画通り実施、健康診断:受診率100% 有給休暇取得率:前年度54.7%⇒59.0%に上昇	○	メンタルヘルス研修:3カ年計画受講率100%、健康診断:受診率100% 次世代育成支援プログラムの周知徹底と利用率向上
	14	人権とプライバシーを守る	内部通報相談:10件適切に対応 パワハラ防止を主題に全従業員対象コンプライアンス教育実施	○	通報・相談窓口の周知と適切な対応
環境責任	15	グリーン調達比率の向上を図る	間接材のグリーン購入比率:8%(前年度より2%の向上) 原材料のグリーン購入比率:20%	○	間接材購買システムの推進を継続
	16	環境へ配慮し、中期環境目標を達成する	化学物質排出量の削減:データは本冊子(P22)、ウェブサイトへ開示	○	化学物質排出量の削減:2020年度までの中期環境目標(ウェブサイトで詳細報告)達成に向けた取り組み
	17	廃水処理技術を向上させ、環境規制に対応する	廃水処理の新規技術:数点検討中、技術1件につき、特許出願検討中	○	規制強化を先取りした処理技術の開発、低コストの処理技術の確立
	18	より一層のエネギー低消費型企業を目指す	省エネルギー原単位:前年比4.0%削減	◎	各事業場の省エネマスタープランに従った省エネ活動の推進
経済的責任	19	持続可能な企業グループとして安定的な収益を確保する	グループ会社への中長期重点課題制度の導入 グループ会社環境安全推進会議の初開催 在庫:目標をやや上回る、プロジェクト化して削減に注力 安価購買:目標通り達成	○	グループ会社中長期重点課題制度の浸透とこれに基づく評価制度の実施 在庫量の適正化、遊休不動産の計画的売却
	20	環境・省エネルギーに貢献する製品を上市する	熱伝導接着シート:採用に目処 遮熱フィルム:サンプルワークを欧州車メーカーに開始	△	高性能熱伝導接着シート・光学制御フィルム新製品の上市 品質保証体制の向上による顧客満足度UP
	21	経済負担を軽減する高品質な医薬品を提供する	日本化薬初のバイオシミラー「フィルグラスチム」上市 ジェネリック抗がん薬を2製剤上市	○	バイオシミラーの早期上市とジェネリック抗がん薬の遅滞ない上市
	22	独自技術を応用した安価自動車用安全デバイスをグローバルに拡大し、人命保護に貢献する	マレーシア拠点の設立 メキシコ拠点への生産設備の増強を実施	○	マレーシア拠点の生産準備完了 中国・メキシコ拠点における生産設備増強
	23	ものづくり技術の継承により生産工場を維持存続する	発表会および優秀技術表彰による技術情報共有化 生産技術専門教育は、若手中心に実施	○	ものづくりに関連した全社発表会・社内教育・情報共有の推進
	24	持続的に研究テーマを創生・遂行する	次年度から開始するコーポレート研究制度に向け準備	○	新制度の有効活用と新規テーマの創生

ウェブサイトに ISO26000の社会的責任の中核主題及び課題との対照表を掲載します。

◎:十分に目標を達成 ○:ほぼ目標を達成 △:実現に向け努力中 ×:目標未達

※【SDS】Safety Data Sheet (化学物質安全性データシート)